



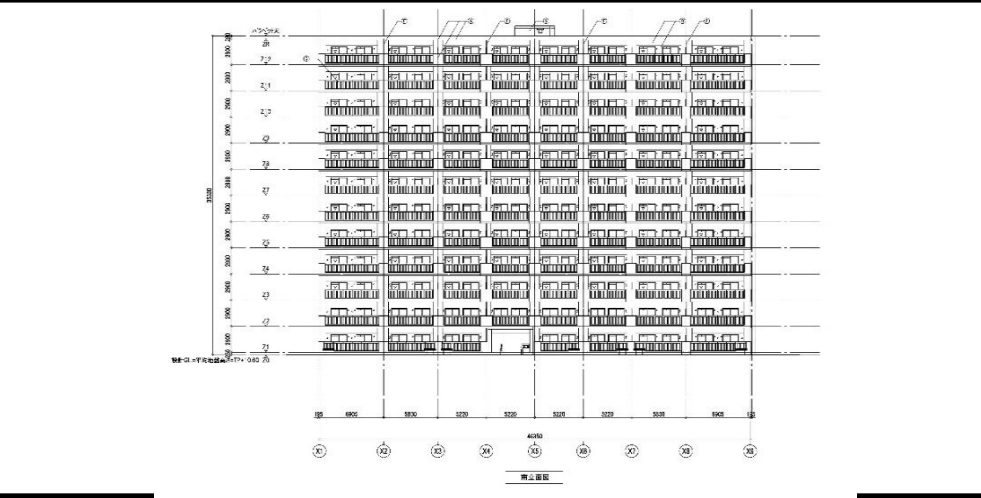
# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.1)

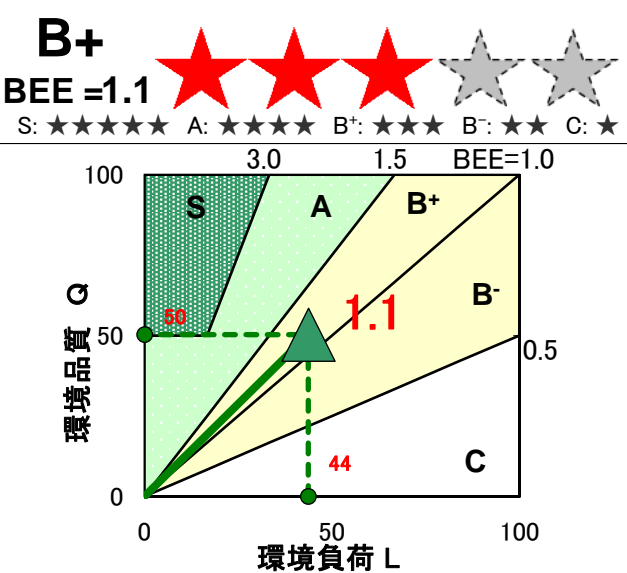
## 1-1 建物概要

建物名称	長吉六反東第1住宅3号館		
建設地	平野区長吉六反5丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	大阪市長		
設計者	大阪市都市整備局		
敷地面積	7,483.29	m <sup>2</sup>	
建築面積	609.71	m <sup>2</sup>	
延床面積	5,478.21	m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造	/	地上12階
完了年(予定)	2024年12月		

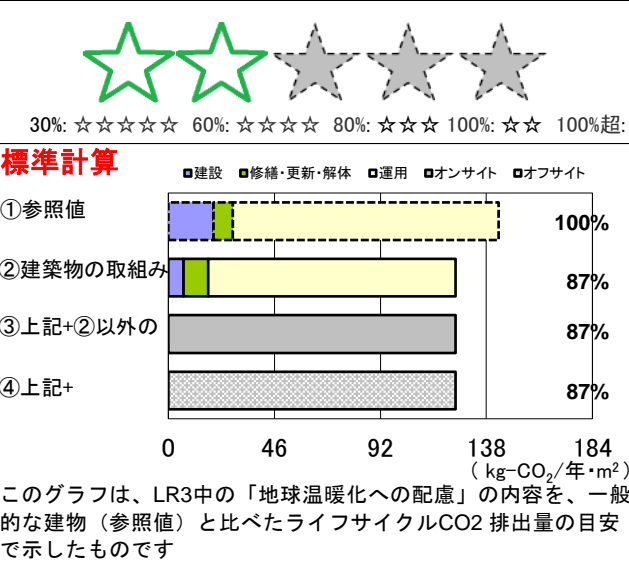
## 1-2 外観



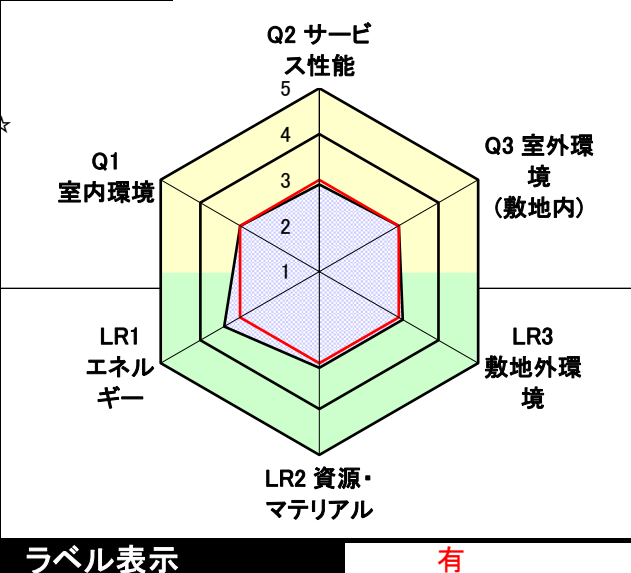
## 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



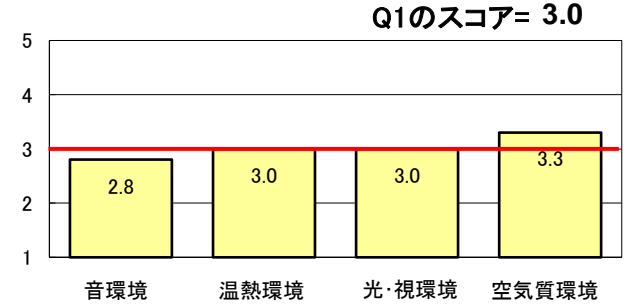
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



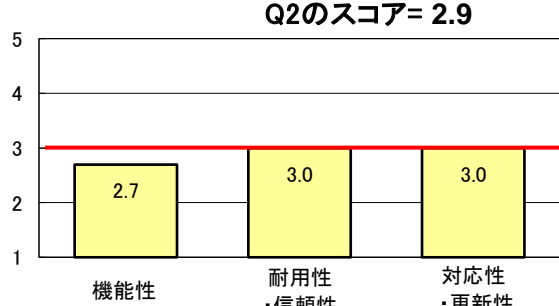
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質

#### Q1 室内環境

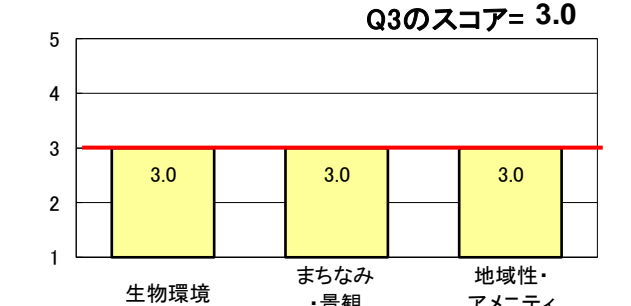


#### Q2 サービス性能



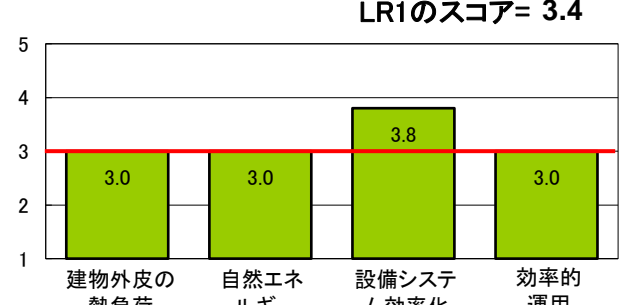
### Q のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

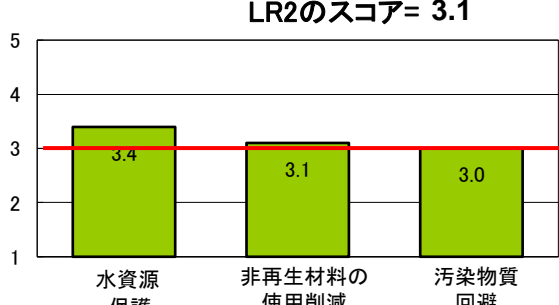


### LR 環境負荷低減性

#### LR1 エネルギー

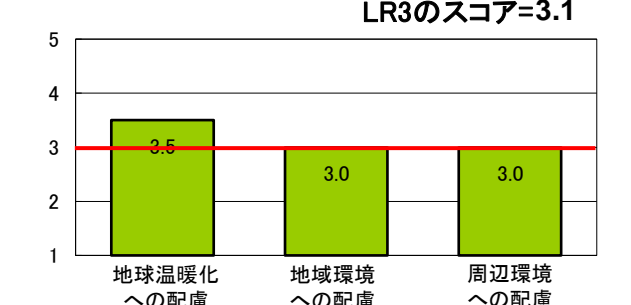


#### LR2 資源・マテリアル



### LR のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

本件住宅は、室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F☆4の材料を使用している。また、建物の長寿命化に取り組んでおり、グリーン調達推進により、再生利用材料の使用に努めている。

### その他

特に無し。

### Q1 室内環境

騒音、遮音については、標準設計でRC壁・床厚さ150mm以上とし、遮音性能を確保している。化学物質は住宅性能評価でF☆4を要求し、建築材料はほぼ全面的にF☆4を採用している。

### Q2 サービス性能

住宅性能評価で等級3を満足する長寿命の建物を計画している。

### Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。

### LR1 エネルギー

自然エネルギーについて、台所から居間までの2方向通風を確保することにより、建物の負荷低減に配慮している。

### LR2 資源・マテリアル

節水コマ・節水型便器を採用することで、節水・省エネ対策に「配慮」している。杭に高炉セメントを使用しており、CO2の抑制に配慮している。

### LR3 敷地外環境

交通負荷制御について、各戸当たり1台の駐輪場を設置しており、必要台数を満足する駐車場も設置している。また、サービス用の適切な駐停車スペースの確保や出入の円滑化に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	高効率設備器具を採用し、ライフサイクルCO2の削減に配慮した。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内には適切に緑化を施すことで、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	適切な箇所に熱橋補強をすることで断熱性能の向上に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.8
配慮事項	LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化を図った。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]
	0.92	0.92
		非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
		-